

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2016年度（財）日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項により行う。

2 練習について

練習は、陸上競技場において競技役員の指定する場所と時間帯で行う。

3 招集について

(1) 招集はすべての種目、現地集合とする。

(2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時間を基準に次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	15分前
フィールド	30分前	15分前

(3) 招集の手順

①代理人による最終点呼は認めない。ただし、出場競技者が他の競技に出場中に招集出来ない場合は、代理人がその旨を競技者係に説明し、指示に従う。

②リレー種目においては、競技開始1時間前にリレーオーダー用紙に記入し、本部に提出する。(1チームにつき2部提出)

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理をする。

(5) 競技場所へは係員の誘導により入場する。

4 競技について

(1) 短距離走では、安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走る。

(2) トラック競技でセパレートレーンを使用する時、欠場者がある場合は、そのレーンはそのままあけておく。

(3) セパレートレーンで行うリレーの競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンに粘着テープによって、1カ所印をつけてもよい。
その印は、50mm×400mmまでで、各自チームの競技者が必ず取り除くこと。
なお、補助ラインを使用しても良い。

(4) 走幅跳では、主催者が提供したマーカーを助走路外におくことができる。走高跳で助走や跳躍の際、主催者が承認したものをおくことができる。

(5) フィールド競技において2ピット(2つの競技場所)が必要と判断した場合は2つの競技場所で行う場合がある。

(6) 走幅跳では、審判長の判断によりパスラインを設けることがある。

(7) 走高跳の跳躍スタイルは片足踏切とし、空中スタイルは「はさみ跳」スタイルとする。

(8) トラック競技とフィールド競技が重なって出場している競技者は、トラック種目を優先させる。なお、跳躍審判長または跳躍主任にその旨を説明し、許可を得なければならない。

5 助力について

競技中、競技者は助力を受けてはならない。

助力を受けている競技者は審判長によって注意され、繰り返し行われている場合には、その種目から除外される。

(1) 競技者が携帯電話などの通信機器を競技場内に持ち込むこと。

(2) 競技者以外の者が、競技場内に入り、助言・援助すること。

6 競技用具について

競技用具は、主催者が準備したものを使用すること。

7 走高跳のバーの上げ方について

種 目	練習	1	2	3	
男子	1. 1 0	1. 1 5	1. 2 0	1. 2 5	1 m 3 5 までは、5 c m ごと、それ以後 3 c m ごと
女子	1. 0 5	1. 1 0	1. 1 5	1. 2 0	1 m 3 0 までは、5 c m ごと、それ以後 3 c m ごと

※天候などの条件により審判長の判断により変更する場合がある。

8 その他

①記録は正面入口付近の記録掲示板に掲示する。

②競技会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は応急措置を行うが、その後の責任は負わない。

③記録証を希望する競技者は、記録証係に記録証交付願および交付料（5 0 0 円）を添えて申し込む。（記録証交付願は受付に用意する）

④競技場は常に清潔保持に努め、紙くずなどは各自で持ち帰って処分すること。

また、荷物など所持品は各自責任を持って管理し、盗難には十分に注意すること。

⑤プログラムは受付にて、一部につき 5 0 0 円で販売する。